

第3回つがる市消防団



定期観閲式

日ごろの訓練の成果を披露

6月24日、第3回つがる市消防団定期観閲式が市役所を中心に行なわれました。

観閲式とは、消防団員が日ごろ行っている防火、防災訓練の成果を観閲者に披露し、服装、分列行進、機械器具点検などの審査を受けるものです。

現在、つがる市消防団は57分団で、消防ポンプ車等82台が配備され、1450名の団員が消火栓や消防ポンプの管理、そして消火訓練などを行っています。まさかの災害に備えています。

観閲は、市役所前の市道にポンプ車両と団員が整列し視閲点検、機械器具点検が開始され、続いて分列行進が行われました。

また、木造北保育園児による太鼓と柏第一保育所の園児で構成する、幼年消防クラブの機械器具点検と放水訓練が披露されました。

式典では、殉職消防団員への黙祷、表彰伝達並びに授与式が行われ235名の団員が各表彰を受けました。

消防庁長官表彰は、尾野光春副団長（車力）、山本健次副団長（木造）、小田川鉄男分団長（柏）の3名が受賞し、三村申吾県知事より伝達されました。

観閲式では柏大隊が日頃の訓練の成果を十分に発揮し、安定した力で見事8連覇を成し遂げました。

柏大隊が総合優勝

観閲式成績

総合優勝 柏大隊（462点）
第2位 稲垣大隊（416点）
第2位 木造第3大隊（416点）
第3位 木造第1大隊（414点）

玉落競技

○50馬力以下

優勝 木造第19分団第2部（駒田） 17秒18
第2位 稲垣第5分団第1部（沼館） 20秒25
第3位 木造第6分団第1部（石館） 31秒16

○51～85馬力まで

優勝 木造第6分団第2部（生田） 21秒03
第2位 木造第16分団第2部（菊川） 27秒64
第3位 木造第3分団第1部（川除） 36秒34

○86馬力以上

優勝 車力第5分団（車力） 17秒22
第2位 木造第14分団第2部（平滝） 17秒65
第3位 木造第8分団第1部（土滝） 18秒24



幼年消防クラブの見事な放水



木造北保育園の縄文太鼓



水を被りながらも、白熱した玉落し競技

百二十一名が自慢の健脚を競う

6月17日、第3回つがる地球村一周マラソン大会（今年から名称が変更）が開催されました。当日は気温も高くマラソンには少し厳しい天候でしたが市内外から121名の選手がつがる

地球村円形劇場前を発着点とした特設コースで10キロから1・5キロまでの5部門で健脚を競いました。

大会は、参加者同士の交流を深めながら健康増進を図ってもらうと行われたもので、開会式では福島市長が参加選手を激励し、五所川原工業高校の中原

修二さんの選手宣誓で開会。

参加選手は一般や高校、中学校、小学4年生以上、50歳以上などの各部門に分かれて健脚を競いました。

また、親子で1・5キロを走るファミリーの部には15組45名が参加し、それぞれのペースで完走を目指しながら、心地よい汗を流していました。

競技終了後には豚汁が振る舞われ、世代間交流もでき、楽しい一日になったことと思います。



元気にスタートするファミリーの部

AED(自動体外式除細動器)を導入

つがる市教育委員会では、1人でも多くの生命が救われることを目的に中学校と小学校（一部）、教育委員会にAED（自動体外式除細動器）を導入しました。

AEDは、突然の心臓停止状態に陥った場合に電気ショックを与えて正常に戻す機器であり、すぐに心肺蘇生法を行えば、脳細胞の障害を遅らすことができるばかりでなく、脳蘇生も期待できると言われています。

心停止後、1分除細動が遅れるごとに7%、10%救命率が減少すると言われており、脳障害を起こさずに救命するためには、心室細動に対して心停止後5分以内にAEDによる早期除細動を行うことが必要であるとされています。

また、教育委員会では消防本部の協力を得て、今後、教職員を対象とした講習会を行う予定です。



導入された、AED

第3回つがる地球村一周マラソン大会



総合結果

【小学4年生以上男子の部 3km】

- 1位 加藤 典優 (瑞穂小)
- 2位 石田 慶将 (青森市)
- 3位 新潟 聖平 (瑞穂小)
- 4位 高野 優也 (青森市)
- 5位 小関 和大 (瑞穂小)
- 6位 成田 康志 (富港小)

【小学4年生以上女子の部 3km】

- 1位 野宮 千愛 (青森市)
- 2位 生田 佳乃 (柏 小)
- 3位 川越 南実 (柏 小)
- 4位 佐藤 香菜 (青森市)
- 5位 鳳至 葉月 (柏 小)
- 6位 増田 麗華 (柏 小)

【中学生男子の部 3km】

- 1位 佐々木祐真 (稲垣中)
- 2位 阿部 泰昂 (稲垣中)
- 3位 宮西 稔真 (柏 中)
- 4位 葛西 規之 (柏 中)
- 5位 長谷川友和 (柏 中)
- 6位 金子 凌太 (柏 中)

【中学生女子の部 3km】

- 1位 荒谷みなみ (柏 中)
- 2位 秋庭保奈美 (柏 中)
- 3位 長谷川好水 (柏 中)

【高校男子の部 10km】

- 1位 成田 惇平 (つがる市柏)
- 2位 伝法谷 拓 (つがる市木造)
- 3位 中野 修二 (つがる市木造)
- 4位 沼ノ江 航太 (鶴田町)
- 5位 三浦 優孝 (鶴田町)
- 6位 山口 誉貴 (つがる市車力)

【一般男子の部 10km】

- 1位 一戸 雅之 (つがる市森田)
- 2位 池田 大助 (青森市)
- 3位 三浦 恒一 (五所川原市)
- 4位 吉田 匡克 (つがる市木造)
- 5位 川越 秀徳 (つがる市柏)
- 6位 古川 慎吾 (つがる市森田)

【一般女子の部 5km】

- 1位 川越 七重 (つがる市柏)
- 2位 川崎 順子 (つがる市木造)

【50歳以上男子の部 5km】

- 1位 天間 義昭 (青森市)
- 2位 佐々木栄治 (板柳町)
- 3位 佐々木和憲 (つがる市柏)
- 4位 川越 信 (青森市)
- 5位 鳴海 勝一 (青森市)

【50歳以上女子の部 5km】

- 1位 木村 茂子 (つがる市森田)

7月1日、生涯学習交流センター松の館で第1回ミスつがるコンテストの決勝審査が行われ、初代ミスつがるが決定しました。コンテストには、27名の応募があり、1次審査を通過した12名が決勝審査へ進みました。決勝では、自己PRを行い、続いて3グループに分かれて審



初代ミスつがる 3名が決定

査を行いました。

5名の審査員からは「つがる市をPRするのなら…」等の質問がされ、出場者は緊張しながらもハッキリと答えていました。

結果発表で増田教正審査委員長は「非常に迷いました。誰が選ばれてもおかしくないの、心を鬼にして選ばせていただきました。」とあいさつを述べ、3名が発表されると会場からは大きな拍手と歓声が上がっていました。

最後に、まつり協賛会会長の福島市長より賞状と副賞、トロフィーとミスつがるの証としてティアラが送られ「ミスつがるに選ばれた3名の皆さんは、これからつがる市PRのため忙しくなると思いますが、頑張ってください。」と激励しました。ミスつがるの3名はこれから2年間、祭り、各種イベント等に参加しつがる市PRのため頑張っていたくことになりました。

(写真右から)

葛 西 彩 華さん (21)

(弘前市、柏出身) 大学生

野 呂 萌 美さん (23)

(つがる市木造) 団体職員

石 戸 谷 有 香さん (22)

(弘前市、稲垣出身) 大学生



動物とたのしく

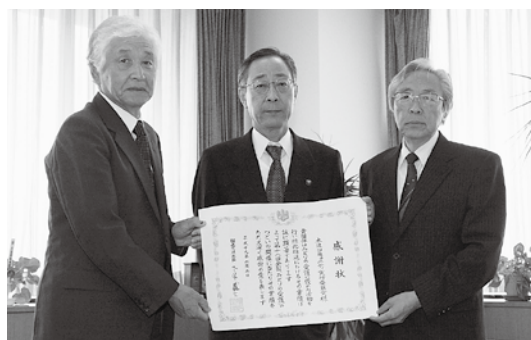
6月30日と7月1日の2日間、道の駅もりた「アーストップ」で動物ふれあいフェスタが開催され、多くの家族連れが訪れかわいい動物たちと楽しい時間を過ごしていました。

また、同時に世界の昆虫コーナーや金魚すくい、ミニSSLの運行会も行われ子供たちも喜んでいました。

お父さんお母さん達には新鮮市場が好評で当日水揚げされた新鮮な魚介類も並んでおり、夕食のおかず?にたくさん買い求めている人も見受けられました。

6月27日、第18回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した「木造コミュニティ実行委員会」長谷川良幸会長と山谷一郎事務局長が福島市長を訪れ、受賞の報告をしました。

この表彰は、花と緑の愛護に特に著しい功績があった民間団体に送られるもので、長谷川会長は「設立以来15年間に渡り環境美化に取り組み緑化活動を継続してきた事が評価されたと思います。目的を持って、構成団体の会員が協力し合いながら取り組んできたことが認められての表彰であり、喜んでおります。これを契機に更に緑化運動を推進し、明るく住みよい街づくりに寄与したいと思います。」と受賞の言葉を述べていました。



左から山谷事務局長、市長、長谷川会長

木造コミュニティ実行委員会が 「みどりの愛護」で大臣表彰